

# 年末年始、インフルエンザ等に注意しましょう！

## (予防に関する注意喚起)

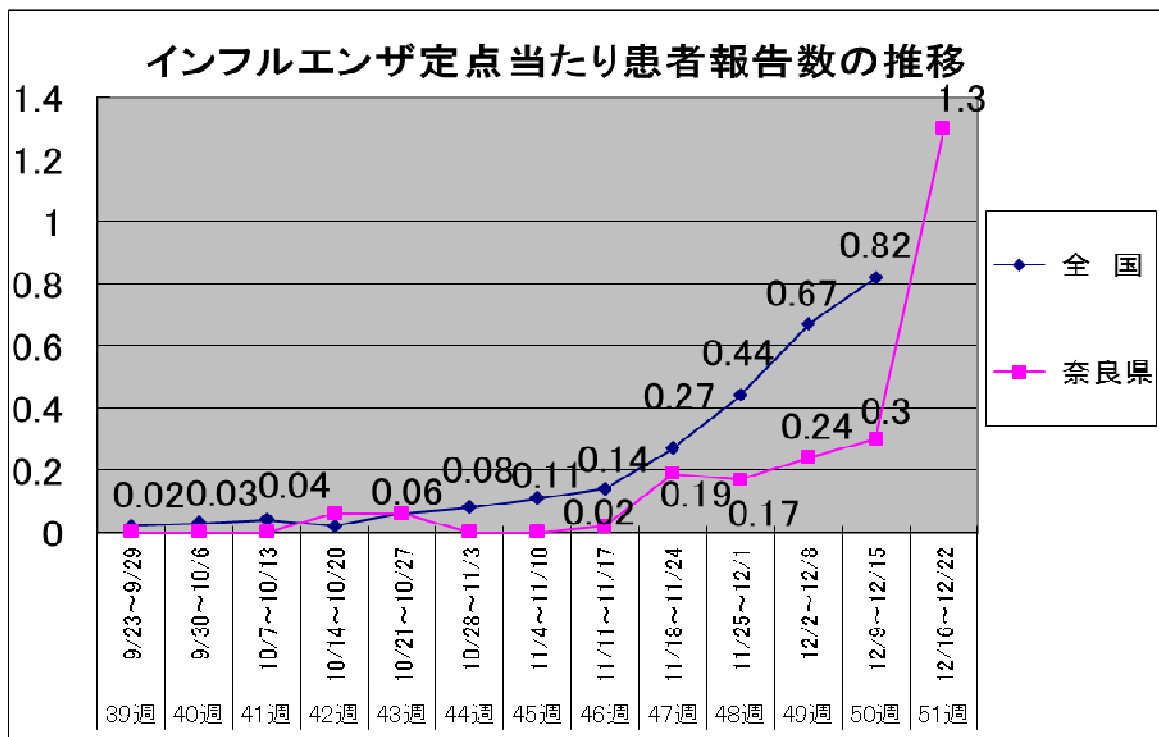
平成25年12月25日

インフルエンザの患者数が増加しており、これから流行する兆しがあります。年末年始は帰省や初詣など、外出する機会が多くなるため、インフルエンザの予防が重要です。良い年を迎えるため、体調管理に注意し、インフルエンザ等の予防に努めましょう。

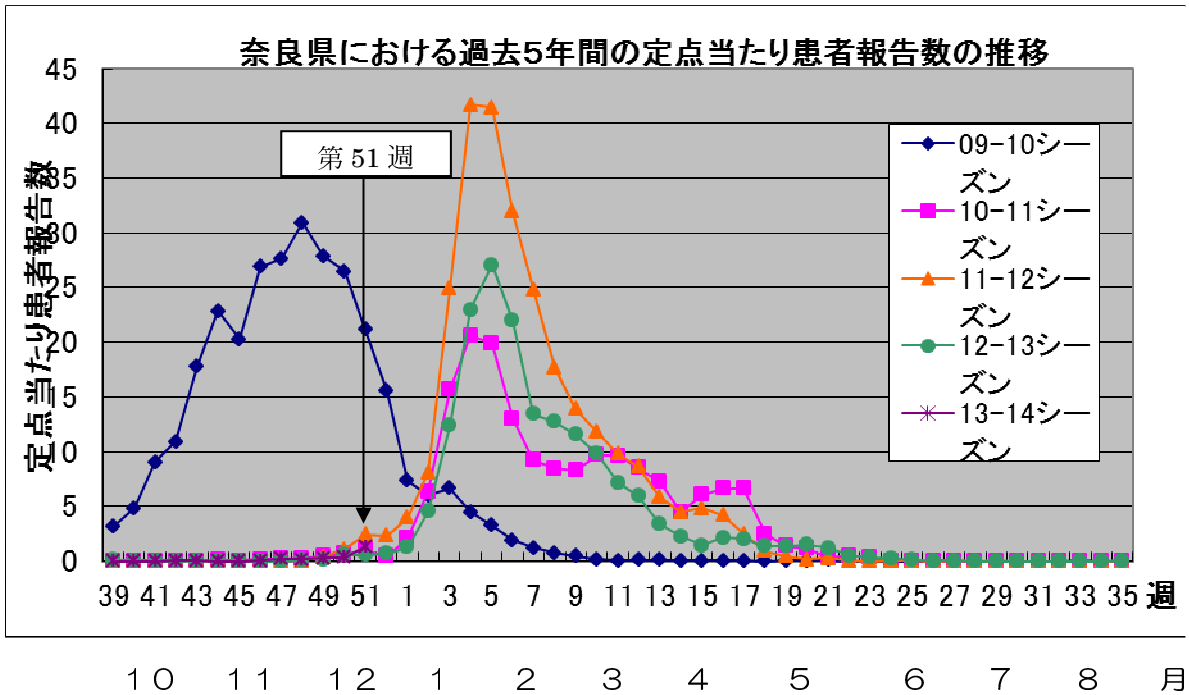
感染の予防と感染拡大の防止のため、外出する時にはマスクを着用し、外出先から帰ったらこまめに手洗いやうがいをしましょう。特に、咳やくしゃみの症状があるときはマスクをするなど、咳エチケットを徹底しましょう。

### ○ インフルエンザ発生状況

インフルエンザは、例年1月から2月にかけて流行のピークとなります。奈良県では、第51週（平成25年12月16日～12月22日）のインフルエンザの定点当たり患者報告数が「1.30」となり、流行開始の目安となる「1」を超えました。全国のインフルエンザ定点当たり患者報告数は、前の第50週に「0.82」となっており、第51週には「1」を超えると思われる見込みです。



○奈良県における過去5年間の推移



※ 定点とは県が指定した医療機関で、インフルエンザについては55か所の医療機関から週1回患者数が報告されます。（患者報告数が「1」を超えれば流行開始とされています。）

○地域別の状況

保健所管内別では、奈良市、郡山、桜井で患者報告数が「1」を超えています。

第51週の保健所管内別定点当たり報告数。

奈良市	郡山	葛城	桜井	吉野	内吉野
1.27	1.88	0.36	1.55	1.00	1.00

○ウイルスの検出状況

奈良県保健研究センターにおけるインフルエンザウイルスの検出状況は、2012年第36週以降の検出総数6件のすべてがB型でした。（その他の型は検出されていません。）